

科目名	映像リテラシーC2							年度	2024
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	笹本篤		教員の実務経験		あり	実務経験の職種		映像制作	
【科目の目的】 放送・映像業界が産業の転換期を迎える中、本当の意味で現場から求められる人材を育成すべく映像制作におけるより広く深い専門知識を学ぶと共に学生自身がより能動的に学ぶ機会を提供する事を目的として「MA・音響効果」「Adobe基礎・カラーグレーディング」などいくつかの専門科目を開講。									
【科目の概要】 「MA・音響効果講座」「Adobe基礎・カラーグレーディング講座」などを実施。尚、開講詳細については、年次・希望人数などの関係で変更の可能性があります。									
【到達目標】 各講座でそれぞれの基礎を理解し撮影・制作現場にて求められる最低限の専門知識を身につける。また、それらの応用として各講座で学習した専門知識を具体的に作品・番組に反映させた企画立案を行う。									
【授業の注意点】 講座によっては機材を扱う事もあるが使用の際は必ず担当講師・教員の許可を受けるもしくは指示のもとに取り扱う事。実習形式の授業も含まれる為、欠席・遅刻・途中退出については厳しく取り扱う事を理解する事また授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A Adobeの基礎	Photoshop、Illustrator を使って素材の加工が適切に行える		Photoshop、Illustrator を使って素材の加工がある程度行える			Photoshop、Illustrator を使って素材の加工が満足に行えない			
到達目標 B Premiereの基礎	映像、素材を取り込んで思い通りに編集することができる		映像、素材を取り込んである程度編集することができる			映像、素材を取り込むことが出来ない			
到達目標 C DavinciResolveの基礎	DavinciResolveを使って適切にカラーグレーディングを行える		DavinciResolveを使ってある程度カラーグレーディングを行える			DavinciResolveを使えない			
【教科書】 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】 毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		映像リテラシーC2			年度	2024
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価	備考
1	Adobe基礎①		Adobe基礎①	Photoshop、Illustratorなどの出来ること		
				を理解する		
5	Adobe基礎②		Adobe基礎②	Photoshopの基本操作		
3	Adobe基礎③		Adobe基礎③	Photoshopで素材を作る		
4	Adobe基礎④		Adobe基礎④	Illustratorの基本操作		
5	Adobe基礎⑤		Adobe基礎⑤	Illustratorで素材を加工する		
6	Adobe基礎⑥		Adobe基礎⑥	Illustratorでさらに高質なものを作る		
7	Premiere基礎①		Premiere基礎①	編集の基本的な考え方を学ぶ		
8	Premiere基礎②		Premiere基礎②	Premiereの基本操作		
9	Premiere基礎③		Premiere基礎③	実際に撮影した映像を取りこみ編集する		
10	Premiere基礎④		Premiere基礎④	Illustratorで作った素材を使ってみる		
11	カラーグレーディング①		カラーグレー	カラーグレーディングの基本的な考え方を学ぶ		
			ディング①			
12	カラーグレーディング②		カラーグレー	色彩の加工の意味と効果を理解する		
			ディング②			
13	カラーグレーディング③		カラーグレー	カラーグレーディング操作基礎		
			ディング③			
14	カラーグレーディング④		カラーグレー	Rawデータ収録映像を取りこみ加工する		
			ディング④			
15	カラーグレーディング⑤		カラーグレー	DavinciResolveでのカラーグレーディング		
			ディング⑤	を学ぶ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等